

「地方創生」と「一億総活躍」

安倍内閣による「地方創生」が内閣の目玉施策として宣伝されましたが、昨年の統一自治体選挙を過ぎるとメディアに登場する機会も減っているように思われます。プレミアム商品券の事業の検証もない中、今度は「一億総活躍社会」と次々に目玉施策が登場します。

しかし、従前から地域活性化に取り組んでいる地方自治体は数多くありますし、成果を上げている地域もあります。しかし、政府による選択と集中という言葉の「地方創生」には中央集権的なにおいが感じられます。

今回講演会の講師にお呼びした金井利之先生は気鋭の行政学者として様々なところで政府主導の「地方創生」に疑問を投げかけてい

ます。最近執筆した「地方創生の正体」（ちくま新書）では地方自治体は安倍内閣の「地方創生」に関わらない方がよいとの主張をしております。「地方創生」を山登りにたとえ政府のいう計画づくりという山を登った山の向こうにはただ反対側が見えるだけと例えました。地方自治体は「平成の大合併」「地方創生」と様々な難題を国から押し付けられ、結果として住民の意思と違った方向に進む現実を見据え、地方自治体は住民とともに歩むことが大切と訴えています。

今回の講演では先生の地方自治論を中心に地方自治体はどうあるべきかを最近の政治の動向を踏まえお話いただけるものと考えます。皆様のご参加をお待ちしています。

[講演会資料代 500 円 会員無料]

★ お申込は自治研センターへ 電話 043-225-0020
FAX 043-225-0021
☆5月27日（金）までにお申し込み下さい

自治研センター 講演会のご案内

- 日時：2016年6月11日（土）
17時～18時30分
- 会場：千葉県教育会館本館 203 会議室

＜講演 講師紹介＞

金井利之氏
(かない としゆき)



- ＜現職＞東京大学大学院政治学研究科教授
- ＜略歴＞1967年群馬県生まれ、1987年東京大学法学部卒業、1992年東京都立大学法学部助教授、2002年東京大学大学院政治学研究科助教授、2006年同教授
- ＜主要著作＞『自治制度』東京大学出版会（2007年）、『原発と自治体』岩波ブックレット（2012年、共著）、『地方創生の正体』ちくま新書（2015年、共著）

- 主催：千葉県地方自治研究センター
- 共催：自治労千葉県本部
- 後援：連 合 千 葉